

光明禪寺

第494号

今和五年十一月

現在に活きる
仏の教え

あなたを必要な人が世の中にはいるよ。

人生とは、今日一日のことである。

なんとかなる！

レントゲンを撮るときはよ、笑顔
で撮ると明るく写るんだ。笑顔
は何でも明るくするぞ。

あなたが疲れるのは、あなたが前向
きだから。

大丈夫。あなたならできるから。

電話 22-4127
(2回線)
4541
090
7981
9123
FAX 2413519

(県・市文化財指定安置所)

〒691-0400 二指宿市十町南迫田二七六八

十一月の行事

一 曉天坐禅会 初一日曜(五日) 朝六時
初三日曜(十九日)

一 祠堂永代経法要

十五日 二時

保育園 七五三 十五日 九時半

一 地藏尊・水子供養

二十四日 二時

祠堂 永代経(供養)について

祠堂とは、本堂(お見堂)に檀信徒の皆々様方の位牌が多くさん並べてある所、又は皆々様方の御先祖様の位牌がまつられて供養する所を、祠堂殿といひます。そこに、今日15日永代経供養をおこないます。永代経とは、永久的に故人や先祖様を供養、法要をおこなう為に、特別志納金(永代、永久供養料20万円以上)を納められた方で、その御先祖様を丁寧^{ていじん}に御供養する日です。遺徳を偲^{しの}び、その慈恩に報いる法要です。常^{とこ}ひろのご無沙汰をわびながら、今いるのは御先祖様のおかげで生きているのです。自分かなくなつた後でも、未来はお寺

の方で、供養が続けられていくのです。今は子供に迷惑をかけたなにかうといつて、生きている時に自分の永代経供養を申込みれる方々か今はふえてきました。未来は無縁にならない為に、有縁 無縁 三界 万霊等です。

・納骨堂について

平成4年度に建立した 納骨堂も、二階は完販で、一階の140万も売販で、180万いちばん大きい方で三つだけ残っています。希望者の方は早目に申込み下さいませ。

・ホームページを見られる方は
源忠山光明禅寺で検索して見
て下さいませ。

訃報

信徒 玉利地区の片平フキ工様か
病氣療養中でしたか。十月三日の歳
を以て永眠致しました。(湯ノ口京)
子様の御母上様です。
ここに故人の御冥福を仰に
お祈りします。

信徒の方で 護持会費を納入を
して下されば 檀家になれます。



つながり
支え合い
ともに生きる

春は花 夏ほととぎす 秋は月
冬雪さえて冷しかりけり

道元禪師

只管に坐禅に打ちこまれた道元
禪師は、四季のあるがままが調
和を保ち、大自然に包まれて誰
もが不平不満なく安心していき
きとしている世界を「冷しかりけり」と詠まれました。私たちは、地球環境の調和に護られ、多くの人やものと相互に依存しあうて共に生き、生かされているのです。生命に貴賤はありません。すべてが平等であり、ともに支え合って生きていきます。

・生き甲斐とは

技術によって職業が決められる社会は、社会の中にその技術が必要であるからでありませぬ。社会全体

からみるとその部分にその技術が必要であるからであります。社会全体からみるとその部分にその技術が必要なわけで、社会の重要な一部であります。しかし人間は機械ではありません。自分の意志というものをもち、自分の人生をも同時に生きていく個性を有するものであるため、いつか機械との協調にも限度を感じるようになります。そこで人間は何を求めらるのでありますやう。絶望でしょうか、歡樂でしょうか、それともあきらめでしょうか。いずれも敗北ではありません。それでは、いきいきとした充足感の中で仕事ができることといったらう、どんな生活をいうのでしよう。仕事は何を目的として誰のためにしているのでしょうか。

どんな仕事でも、目的のない仕事はありません。そしてその目的は、必ず人間社会に意義をもつものであります。意義も価値もないものは、いつか淘汰されて消滅してしまいます。どんな仕事でも人間社会に仕事として存在しているものすべて、必ず人さまに役立つものばかりであります。それはかりではありません。正法眼蔵にある土地草木牆壁瓦礫皆仏事を作すとの道元禪師の教えは、草木や垣や瓦や石ころまで何一つとしてこの世の中で役立つものはないということです。立派に仏さまのために役に立っている世界でありますとお示しになります。ましてや人間である以上、人さまのために役立つのでなければ生きることの意味がありません。